

決算審査特別委員会審査報告書

私達、決算審査特別委員会は村民に負託され、議会議員に選出されたことを念頭に置き、公正、公平な審査を心掛けて予算執行の結果を確認、検証することで予算効果と行政効果を客観的に判断し、村長や会計管理者に対する事前統制と事前監視の役割を果たし、住民に対し実態を知らせ、理解と納得を得ることで財政民主化を徹底する意義を十分に理解した上で決算の審査に臨んだことを申し述べ、令和4年度決算審査特別委員会の審査結果について、ご報告いたします。

令和5年9月議会で村長から提出されました、議案第44号令和4年度丹波山村一般会計歳入歳出決算認定から、議案第54号の令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定までの11会計の決算審査を、議長から指名された4人の委員が、9月14日に役場大会議室において決算審査を、実施しました。

今回も昨年同様、委員が各課長への聞き取りを行う形で実施し、未納額、不用額、事業実施状況等、詳細な説明を受ける形で審査をした結果を各決算別に述べます。

一般会計歳入歳出について

歳入

- ・村税の収納について、昨年度の指摘事項を適切に実行し、未納額が減少したことに対し努力を認める。しかし、今後は督促状の送付を徹底し、その後の滞納処理業務を進めること。
- ・住宅使用料の滞納については、しっかりとした返済計画を立てて徴収していくことを求める。

歳出

総務費

- ・職員による不適切な事務処理が見受けられた。これは、村の信用を傷つける行為であるので、今後は全職員一丸となり、適正な事務処理が行えるような体制の構築を求める。

商工費

- ・一部の管理委託事業について、契約内容のとおり事業執行しているが、契約方法等を含め改善の余地がある部分については見直しを望む。

特別会計歳入歳出について

簡易水道事業特別会計

・水道管の老朽化により大規模な修繕を行う必要が懸念されている。財政が厳しいことは承知しているが、長期的な展望に立ち予算を確保し対応するよう望む。

水源の里保健休養施設事業特別会計

・村営つり場の経営については、指定管理等も視野に入れたうえで今後の管理・運営に取り組むよう求める。

教育奨励資金特別会計

・奨学金の償還に関して、口座振替による徴収により確実に滞納額が減少しているなので、引き続き徴収業務を進めるよう望む。

全体の指摘事項

・多額の不用額が認められたが、職員の努力により支出を抑えることができた事例もあった。しかし、例えば地方創生推進交付金事業の委託料など年度途中で金額が確定し、減額補正できる事例については見直しを求める。

以上指摘事項を付し11会計すべての決算が適正に処理されている事を、全会一致で確認し決算を認定した事を丹波山村議会会議規則第77条の規定により報告いたします。

令和5年9月15日

丹波山村議会議長

嶋崎 義人 殿

丹波山村決算特別委員会委員長

酒井 隆幸